

中央区環境行動計画事業等の推進状況  
(計画期間 平成20年度から平成29年度までの10年間)

環境行動計画事業	70件	うち事業化	65件	着手率	92.9%
うち計画外事業	31件	うち事業化	31件	着手率	100.0%

資料 1

1 地球環境 —地球温暖化対策が進んでいるまちをつくります—

	事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点 プロ ジェ クト	10年後の到達目標 (平成19年度(策定時)の状況)	事業化 状況	推進状況			掲載 頁	基本 計画
						平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度目標		
1	事業所向け二酸化炭素排出抑制システムの普及	事業所におけるCO2の排出抑制を進めるため、特に中小規模の事業者が取り組みやすいシステムを作成し、運用を支援する。 (平成23年7月愛称名決定「中央エコアクト」) (環境推進課 温暖化対策推進係)	◎	運用開始2009(平成21)年度システムの認証530社  (—)	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>申請件数 6件</li> <li>累計 74件</li> <li>認証件数 6件</li> <li>累計 62件 11.7%</li> <li>更新件数 15件</li> <li>累計 23件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>申請件数 9件</li> <li>累計 83件</li> <li>認証件数 6件</li> <li>累計 68件 12.8%</li> <li>更新件数 7件</li> <li>累計 30件</li> </ul>	予算額【1,303千円】 <ul style="list-style-type: none"> <li>申請件数 20件</li> <li>累計 103件</li> <li>認証件数 15件</li> <li>累計 83件 15.7%</li> <li>更新件数 15件</li> <li>累計 45件</li> </ul> (6月10日現在実績) <ul style="list-style-type: none"> <li>申請件数 0件</li> <li>累計 83件</li> <li>認証件数 2件</li> <li>累計 70件 13.2%</li> <li>更新件数 4件</li> <li>累計 34件</li> </ul>	30頁	○
2	家庭向け二酸化炭素排出抑制システムの普及	家庭におけるCO2の排出抑制を進めるため、子どもでも取り組めるシステムを作成し、普及を図る。  (平成23年4月から取り組み期間、記録方法を改正し、7月に愛称名決定「中央エコアクト」)  (平成27年4月から取り組み期間、記録方法を改正し、認証特典としてエコ・アクション・ポイント付与から環境配慮商品贈呈に変更)  (環境推進課 温暖化対策推進係)	◎	運用開始2009(平成21)年度システムへの参加600世帯  (—)	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加世帯数 63件</li> <li>累計 492件 82%</li> <li>認証世帯数 26件</li> <li>累計 189件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加世帯数 48件</li> <li>累計 540件 90.0%</li> <li>認証世帯数 17件</li> <li>累計 206件</li> </ul>	予算額【629千円】 <ul style="list-style-type: none"> <li>参加世帯数 100件</li> <li>累計 640件 106.7%</li> </ul> (6月10日現在実績) <ul style="list-style-type: none"> <li>参加世帯数 26件</li> <li>累計 566件 94.3%</li> <li>認証世帯数 1件</li> <li>累計 207件</li> </ul>	30頁	○
3	新築・改修建物の省エネルギー化の推進	設備、構造自体の省エネルギー化を促進するため、事業者に「環境計画書」の提出を義務付けることを検討する。(市街地開発事業指導要綱に基づき100㎡以上の開発を行うものに対して環境計画書の提出の義務を明記して指導している。) (環境推進課 温暖化対策推進係)	◎	推進  (71件)	○	環境計画書提出 件数 142件 累計 744件	環境計画書提出 件数 76件 累計 820件	環境計画書提出 件数 80件 累計 900件	30頁	
4	既存建物の省エネルギー化の促進	床面積1,000㎡以上の建物(約2,700件)に対して、エネルギー使用量等の調査を行い、設備の更新による省エネルギー化の促進を検討する。(関連事業 東京都省エネルギー診断) (環境推進課 温暖化対策推進係)				省エネルギー診断受診事業所数 件数 5件 累計 44件	省エネルギー診断受診事業所数 件数 4件 累計 48件	省エネルギー診断受診事業所数 件数 12件 累計 60件  (6月10日現在実績) 件数 0件 累計 48件	31頁	

	事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点 プロ ジェ クト	10年後の到達目標 (平成19年度(策定時)の状況)	事業化 状況	推進状況			掲 載 頁	基 本 計 画
						平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度目標		
5	区施設の利用に伴うカーボンオフセットの導入	区民・事業者が区の施設を使用する場合に発生する二酸化炭素をオフセットするための仕組みを検討する。 (環境政策課 環境計画調整係)				他区の事例等を研究した。	他区の事例等を研究した。	他区の事例等を研究する。	31頁	
6	事業活動等におけるカーボンオフセットの導入	日常生活や事業活動で排出するCO2を区民・事業者が自らオフセットする仕組みを検討する。 (環境政策課 環境計画調整係)				東京都が実施もしくは検討している仕組みなどを研究した。	東京都が実施もしくは検討している仕組みなどを研究した。	東京都が実施もしくは検討している仕組みなどを研究する。	31頁	
7	省エネルギー機器・設備の利用拡大 7-1 7-2	家庭や事業所において、耐用年数を超えた機器・設備等の更新時に、最新の省エネルギー機器の選択を促進する。 (環境推進課 温暖化対策推進係)	推進 (一)			・助成交付件数 126件 22,664,000円	・助成交付件数 110件 19,407,000円	予算額【25,217千円】 ※予算は「8 自然エネルギーの活用」を含む。 ・助成交付件数 132件 24,404,000円  (6月10日現在実績) ・助成申請件数 32件 6,360,000円	45頁	○
		区施設における自然エネルギー設備の設置 (環境推進課 温暖化対策推進係)	推進 (一)	○	太陽光発電設備 -  累計 16施設  風力発電設備 -  累計 5施設	太陽光発電設備 4施設 ・十思スクエア別館 ・マイホームはるみ等複合施設 ・明正小学校等複合施設 ・月島第二小学校 累計 20施設  風力発電設備 1施設 ・明正小学校等複合施設 累計 6施設	太陽光発電設備 1施設 ・久松小学校  累計 21施設  風力発電設備 -  累計 6施設	計画外	○	
8	自然エネルギーの活用	家庭や事業所に太陽光発電などを普及させる仕組みをつくる。 (環境推進課 温暖化対策推進係)	推進 (一)		○	・助成交付件数 2件 728,000円	・助成交付件数 0件 0円	※予算は「1-7 省エネルギー機器・設備の利用拡大」に合算計上 ・助成交付件数 3件 1,047,000円  (6月10日現在) ・助成申請件数 3件 1,047,000円	46頁	○
9	省エネルギー行動の推進	節電や節水等、日常生活における省エネルギー行動の普及・啓発に努める。 (環境推進課 環境活動係)	推進 (推進)		○	・環境パネル展 5月31日から11日まで 区役所 月島区民センター 6月12日から21日まで 日本橋区民センター ほっとプラザはるみ 6月22日から6月30日まで 環境情報センター ・環境作品コンクール ・環境情報誌発行 6月29日発行 12月15日発行	・環境パネル展 5月31日から6月10日まで 区役所 月島区民センター 6月11日から20日まで 日本橋区民センター ほっとプラザはるみ 6月21日から6月30日まで 環境情報センター ・環境作品コンクール ・環境情報誌発行 6月28日発行 12月10日発行	予算額【2,859千円】 ・環境パネル展 6月1日から15日まで 区役所 日本橋区民センター 6月16日から6月30日まで 月島区民センター 環境情報センター  ・環境作品コンクール ・環境情報誌発行 6月30日発行 12月中旬発行予定	45頁	
10	3Rの普及	省資源の推進に向けて、ごみの発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、資源の再生利用(リサイクル)の3Rの普及を図るとともに、特にごみの発生抑制が重要であることを積極的に周知する。 (環境推進課 環境活動係)	推進 (推進)		○	・親子施設見学会 8月7日実施 参加者 36人 ・一般向け施設見学会 10月24日実施 参加者 30人	予算額【367千円】 ・親子施設見学会 8月6日実施 参加者 22人 ・一般向け施設見学会 10月28日実施 参加者 27人	予算額【389千円】 ・親子施設見学会 8月7日実施予定 参加者 40人 (見込) ・一般向け施設見学会 10月下旬実施予定 参加者 40人 (見込)	46頁	

事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点プロジェクト	10年後の到達目標 (平成19年度(策定時)の状況)	事業化状況	推進状況			掲載頁	基本計画
					平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度目標		
11	資源回収品目の拡大  リサイクルを推進するため、容器包装リサイクル法に基づくプラスチックを回収し、あわせてリサイクル品目を拡大する。  (平成26年4月から小型家電12品目及び粗大系小型家電3品目の回収を開始)  (平成27年4月から小型家電の回収品目を拡大し、リサイクルハウスかざぐるま明石町・箱崎町でも回収を開始)  (中央清掃事務所 清掃事業係)		14品目  (11品目：廃食用油、布類、牛乳パック、食品用発泡スチロールトレイ、乾電池、ペットボトル、びん、缶、新聞、雑誌・雑紙、段ボール、蛍光管、金属製なべ・やかん・フライパン、プラスチック製容器包装、スプレー缶・カセットコンロ用ガスボンベ、インカートリッジ)	○	16品目 廃食用油、布類、牛乳パック、食品用発泡スチロールトレイ、乾電池、ペットボトル、びん、缶、新聞、雑誌・雑紙、段ボール、蛍光管、金属製なべ・やかん・フライパン、プラスチック製容器包装、スプレー缶・カセットコンロ用ガスボンベ、インカートリッジ  ※4月から毎週土曜日に区内全小学校、銀座中学校および日本橋中学校の18か所を拠点として、小型家電の回収を開始した。  小型家電12品目 (携帯電話、携帯音楽プレーヤー、携帯ゲーム機、デジタルカメラ、ポータブルビデオカメラ、ポータブルナビ、電子辞書、卓上計算機、ACアダプター、タブレット端末、ICレコーダー、USBメモリー・メモリーカード)  ※小学校等での回収のほか、区が収集した粗大ごみからリサイクル可能な小型家電の回収も行った。  粗大ごみ中継所での回収3品目 DVDプレーヤー、炊飯器、電子レンジ  26年度小型家電回収量 11,073.4kg	17品目 廃食用油、布類、牛乳パック、食品用発泡スチロールトレイ、乾電池、ペットボトル、びん、缶、新聞、雑誌・雑紙、段ボール、蛍光管、金属製なべ・やかん・フライパン、プラスチック製容器包装、スプレー缶・カセットコンロ用ガスボンベ、インカートリッジ、小型家電  ※4月から小型家電の回収品目を10cm×25cm以内のものに拡大し、リサイクルハウスかざぐるま明石町・箱崎町でも回収を行っている。  小型家電品目(10cm×25cm以内) (例：携帯電話、携帯音楽プレーヤー、携帯ゲーム機、デジタルカメラ、ポータブルビデオカメラ、ポータブルナビ、電子辞書、卓上計算機、ACアダプター、タブレット端末、ICレコーダー、USBメモリー・メモリーカード、電話機、ラジオ、ドライヤー、電気かみそり、リモコンなど)  ※小学校等での回収のほか、区が収集した粗大ごみからリサイクル可能な小型家電の回収も行った。  粗大ごみ中継所での回収3品目 DVDプレーヤー、炊飯器、電子レンジ  27年度小型家電回収量(見込) 11,960kg (6月末現在回収量) 2,686.3kg	46頁	○	
12	エコスクールの推進  校舎等の改築や改修にあわせ、CO2の排出量が少ない効率的機器・システムの導入や自然エネルギーの活用、緑化を進め、環境への負荷を低減するとともに、児童・生徒の環境教育に活用していく。 (校庭の緑化や風の道、蝶の道プロジェクトなど昆虫や自然も意識した事業) (教育委員会学務課 施設係)		推進  (一)	○	・有馬小学校緑のカーテン 70㎡	・有馬小学校緑のカーテン 70㎡	※増改築工事のため、中止	47頁	
13	環境学習の推進  幼児・児童等を対象として、「ごみの発生抑制」「ごみの分別と正しい出し方」など、ごみを通して環境に関する理解を深める。 (中央清掃事務所 清掃事業係・作業係)		・幼稚園 16回/年(5回/年) ・小学校 16回/年(3回/年) ・保育園等 8回/年(一)	○	・幼稚園 6回/年 ・小学校 3回/年 ・保育園等 0回/年	・幼稚園 7回 ・小学校 4回 ・保育園等 5回	(6月18日現在実績) ・幼稚園 6回 ・小学校 0回 ・保育園等 2回	47頁	○
14	家庭の省エネ「見える化」の推進  中央区版二酸化炭素排出抑制システムの参加家庭を対象に省エネナビの貸し出しを行う。 (平成27年度から貸し出しを区民対象に変更)  ※省エネナビ 電力使用量、二酸化炭素や熱量、電気料金をリアルタイムに表示し、設定した目標数値をオーバーするとランプの色で警告する機器  (環境推進課 温暖化対策推進係)			○	・貸与申込件数 18件	・貸与申込件数 10件	予算額【61千円】  ・貸与予定件数 60件  (6月10日現在実績) ・貸与申込件数 5件	計 画 外	
15	未利用エネルギーに関する調査  地域がもっている潜在的な資源などを活用し、より優れたエネルギーシステム構築に向けた採算可能性やその実現のための課題解決の方策等について調査を実施する。 (環境政策課 環境計画調整係)			○	中央清掃工場の排熱がオリンピック選手村に導入されるよう、東京都に働きかけを行った。	未利用エネルギー活用を検討していく旨の回答を東京都から得たことを踏まえ、中央清掃工場の排熱がオリンピック選手村に導入されるよう、東京都に働きかけを行った	中央清掃工場の排熱がオリンピック選手村に導入されるよう、引き続き東京都や清掃一部事務組合などとの協議・調整を進めていく。	計 画 外	
16	協働提案事業  社会貢献活動団体と区が公共的な課題解決に取り組むため、協働提案事業として採択された事業を実施する。 (環境推進課 環境活動係)			○	—	檜原村紹介事業 ～檜原村で知る、見る、視察ツアー～ ・協働団体 中央区森の応援団 ・対象 団体、事業者等の旅行企画担当者 ・実施日 平成26年11月9日 ・参加者 30人	予算額【791千円】  檜原村紹介事業 ・協働団体 中央区森の応援団 ・区内団体、企業の檜原村へ向かうツアーをコーディネートする。 ・檜原村訪問団体向け資料の作成	計 画 外	

	事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点 プロ ジェク ト	10年後の到達目標 (平成19年度(策定時)の状況)	事業化 状況	推進状況			掲載 頁	基本 計画																																																																																													
						平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度目標																																																																																															
17	公園灯のLED化	区立公園内照明の消費電力削減による環境負荷の低減および照明器具の長寿命化による維持管理経費の削減を図るため、公園の改修などに合わせて、照明器具をLED化する。 (水とみどりの課 公園河川係)			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>黎明橋公園 (ポール12基、フットライト10基、ソーラー灯2基)</li> <li>あかつき公園 (ソーラー灯1基)</li> <li>弾正橋北東児童遊園 (ポール1基)</li> <li>月島三丁目児童遊園 (ポール3基)</li> <li>石川島公園 (ポール14基)</li> <li>はとば公園 (ポール13基)</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>整備</td> <td>ポール</td> <td>43基</td> </tr> <tr> <td></td> <td>フットライト</td> <td>10基</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ソーラー灯</td> <td>3基</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>56基</td> </tr> <tr> <td>累計</td> <td>ポール</td> <td>93基</td> </tr> <tr> <td></td> <td>フットライト</td> <td>32基</td> </tr> <tr> <td></td> <td>投光器</td> <td>21基</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ソーラー灯</td> <td>9基</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>155基</td> </tr> <tr> <td></td> <td>公園灯の総基数</td> <td>988基</td> </tr> <tr> <td></td> <td>整備率</td> <td>15.7%</td> </tr> </table>	整備	ポール	43基		フットライト	10基		ソーラー灯	3基	計		56基	累計	ポール	93基		フットライト	32基		投光器	21基		ソーラー灯	9基	計		155基		公園灯の総基数	988基		整備率	15.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>月島三丁目児童遊園 (ポール2基)</li> <li>十思公園 (ポール7基、ソーラー灯1基)</li> <li>石川島公園 (ポール17基)</li> <li>常盤公園 (ポール4基)</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>整備</td> <td>ポール</td> <td>30基</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ソーラー灯</td> <td>1基</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>31基</td> </tr> <tr> <td>累計</td> <td>ポール</td> <td>123基</td> </tr> <tr> <td></td> <td>フットライト</td> <td>32基</td> </tr> <tr> <td></td> <td>投光器</td> <td>21基</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ソーラー灯</td> <td>10基</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>186基</td> </tr> <tr> <td></td> <td>公園灯の総基数</td> <td>980基</td> </tr> <tr> <td></td> <td>整備率</td> <td>19.0%</td> </tr> </table>	整備	ポール	30基		ソーラー灯	1基	計		31基	累計	ポール	123基		フットライト	32基		投光器	21基		ソーラー灯	10基	計		186基		公園灯の総基数	980基		整備率	19.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>新川公園 (ポール12基)</li> <li>あやめ第二公園 (投光器6基)</li> <li>数寄屋橋公園 (投光器24基)</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>整備</td> <td>ポール</td> <td>12基</td> </tr> <tr> <td></td> <td>投光器</td> <td>30基</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>42基</td> </tr> <tr> <td>累計</td> <td>ポール</td> <td>135基</td> </tr> <tr> <td></td> <td>フットライト</td> <td>32基</td> </tr> <tr> <td></td> <td>投光器</td> <td>51基</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ソーラー灯</td> <td>10基</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>228基</td> </tr> <tr> <td></td> <td>公園灯の総基数</td> <td>986基</td> </tr> <tr> <td></td> <td>整備率</td> <td>23.1%</td> </tr> </table>	整備	ポール	12基		投光器	30基	計		42基	累計	ポール	135基		フットライト	32基		投光器	51基		ソーラー灯	10基	計		228基		公園灯の総基数	986基		整備率	23.1%	計画外	
整備	ポール	43基																																																																																																					
	フットライト	10基																																																																																																					
	ソーラー灯	3基																																																																																																					
計		56基																																																																																																					
累計	ポール	93基																																																																																																					
	フットライト	32基																																																																																																					
	投光器	21基																																																																																																					
	ソーラー灯	9基																																																																																																					
計		155基																																																																																																					
	公園灯の総基数	988基																																																																																																					
	整備率	15.7%																																																																																																					
整備	ポール	30基																																																																																																					
	ソーラー灯	1基																																																																																																					
計		31基																																																																																																					
累計	ポール	123基																																																																																																					
	フットライト	32基																																																																																																					
	投光器	21基																																																																																																					
	ソーラー灯	10基																																																																																																					
計		186基																																																																																																					
	公園灯の総基数	980基																																																																																																					
	整備率	19.0%																																																																																																					
整備	ポール	12基																																																																																																					
	投光器	30基																																																																																																					
計		42基																																																																																																					
累計	ポール	135基																																																																																																					
	フットライト	32基																																																																																																					
	投光器	51基																																																																																																					
	ソーラー灯	10基																																																																																																					
計		228基																																																																																																					
	公園灯の総基数	986基																																																																																																					
	整備率	23.1%																																																																																																					
18	清掃事業の普及・啓発	『「資源」と「ごみ」の正しい分け方・出し方』の内容を見直し、写真やイラストを増やすとともに、ごみや資源の処理の流れ等について掲載するわかりやすい冊子を作成する。 (中央清掃事務所 清掃事業係)			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ごみと資源の分け方・出し方」の改訂版(隔年)を作成し、区内全戸配布を行い、正しい分別・排出方法の周知徹底を図った。</li> <li>清掃・リサイクルハンドブック(小学生向け・一般向け)により、環境意識の普及啓発を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ごみと資源の分け方・出し方」により、正しい分別・排出方法の周知徹底を図った。</li> <li>清掃・リサイクルハンドブック(小学生向け・一般向け)により、環境意識の普及啓発を図った。</li> </ul>	<p>予算額【11,000千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ごみと資源の分け方・出し方」の改訂版(隔年)を作成し、区内全戸配布を行い、正しい分別・排出方法の周知徹底を図る。</li> <li>清掃・リサイクルハンドブック(小学生向け・一般向け)により、環境意識の普及啓発を図る。</li> </ul>	計画外																																																																																														
		(中央清掃事務所 作業係・晴海事業所)			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃・リサイクル事業の普及・啓発を図るため、環境ポスター貼付を区直営車および委託車等で行った。</li> </ul> <p>直営車 9台 委託車 7台 雇上車 13台(環境標語) ※雇上車 25年度契約1台減</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃・リサイクル事業の普及・啓発を図るため、環境ポスター貼付を区直営車および委託車等で行った。</li> </ul> <p>直営車 9台 委託車 7台 雇上車 13台(環境標語)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃・リサイクル事業の普及・啓発を図るため、環境ポスター貼付を区直営車および委託車等で行う。</li> </ul> <p>直営車 9台 委託車 6台 雇上車 13台(環境標語) ※委託車 27年度契約1台減</p>	計画外																																																																																														
19	リサイクル事業の普及啓発	・エコまつりの開催 フリーマーケットと同時開催する。 (環境推進課 環境活動係)			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコまつり・フリーマーケット同時開催(6月9日)</li> </ul> <p>会場 浜町公園 参加者数 約2,200人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコまつり・フリーマーケット同時開催(6月1日)</li> </ul> <p>会場 中央区保健所、あかつき公園 参加者数 約2,500人</p>	<p>予算額【2,416千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エコまつり・フリーマーケット同時開催(5月31日)</li> </ul> <p>会場 中央区保健所、あかつき公園 参加者数 約2,700人</p>	計画外																																																																																														
20	ほっとプラザはるみの屋上庭園を利用したリサイクル教室の実施	ほっとプラザはるみの屋上庭園や施設を利用してもらうことを目的として、庭園で栽培しているハーブなどを活用してリサイクル教室を実施する。 (環境推進課 環境活動係)			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハーブリサイクル教室 ・ラベンダースティックづくり 6月27日 ほっとプラザはるみ 参加者数 20人</li> <li>・クリスマスキャンドルアレンジづくり 12月18日 ほっとプラザはるみ 参加者数 33人</li> </ul>	—	—	計画外																																																																																														

	事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点 プロ ジェク ト	10年後の到達目標 (平成19年度(策定時)の状況)	事業化 状況	推進状況			掲載 頁	基本 計画
						平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度目標		
21	中央区の森	東京都西多摩郡檜原村で森林保全活動を支援し、CO2の吸収源として重要な役割を担っている森林を守り・育てる。また、「中央区の森」を活用して区民・事業者の環境意識の普及・啓発を図る。 (環境推進課 環境活動係)	◎	33.5ha (事業面積 3.5ha) ・新規作業面積 2.5ha	○	<p>森林保全 [数馬地区] ・面積 37.4ha</p> <p>・新規作業面積 約2ha 累計 約23ha</p> <p>[南郷地区] ・面積 4.9ha</p> <p>・新規作業面積 約2.0ha 累計 3.0ha</p> <p>[数馬地区・南郷地区累計] 累計 約26ha</p> <p>・体験ツアー 1回目 5月19日 31人参加 2回目 10月26日 荒天のため中止</p> <p>・親子自然体験ツアー実施 7月27日 32人参加</p> <p>・事業者・団体への活動助成 1件</p>	<p>森林保全 [数馬地区] ・面積 37.4ha</p> <p>・新規作業面積 約2ha 累計 約26ha</p> <p>[南郷地区] ・面積 4.9ha</p> <p>・新規作業面積 約0.5ha 累計 約3.5ha</p> <p>[数馬地区・南郷地区累計] 累計 約29.5ha</p> <p>・体験ツアー 1回目 5月18日 32人参加 2回目 10月25日 12人参加</p> <p>・親子自然体験ツアー実施 7月26日 32人参加</p> <p>・事業者・団体への活動助成 1件</p>	<p>予算額【15,122千円】</p> <p>森林保全 [数馬地区] ・面積 37.4ha</p> <p>・新規作業面積 約3ha 累計 約29ha</p> <p>[南郷地区] ・面積 4.9ha</p> <p>・新規作業面積 約0.71ha 累計 約4.21ha</p> <p>[数馬地区・南郷地区累計] 累計 約33.21ha</p> <p>・体験ツアー 1回目 5月16日 荒天のため中止 2回目 10月18日 35人(見込)</p> <p>・親子自然体験ツアー実施 7月25日 35人(見込)</p> <p>・事業者・団体への活動助成 3件</p>	30頁	○
22	「中央区の森」の環境ふれあい村構想の推進	森林保全活動を基軸として、本区と檜原村との交流を深めつつ、区民等が豊かな自然に触れる機会の拡大を図るために策定した「中央区の森環境ふれあい村構想」の推進を図る。 (環境推進課 環境活動係)			○	<p>中央区の森環境ふれあい村推進協議会の開催</p> <p>・協議会開催 2回 (檜原村・中央区各1回)</p> <p>・部会開催 6回</p> <p>・「中央区の森環境ふれあい村構想」の推進 (数馬地区案内板の設置、木材資源の有効活用、檜原村との交流促進)</p>	<p>中央区の森環境ふれあい村推進協議会の開催</p> <p>・協議会開催 1回 (檜原村)</p> <p>・部会開催 4回 (1回目は協議会と同時開催)</p> <p>・「中央区の森環境ふれあい村構想」の推進 (花の見られる森づくり検討、木材資源の有効活用、檜原村との交流促進)</p>	<p>予算額【3,079千円】</p> <p>中央区の森環境ふれあい村推進協議会の開催</p> <p>・協議会開催 1回 (檜原村)</p> <p>・部会開催 4回 (1回目は協議会と同時開催)</p> <p>・「中央区の森環境ふれあい村構想」の推進 (木材資源の有効活用、檜原村との交流促進、実施プログラム2016の検討)</p>	計画 外	
23	「中央区の森」の間伐材を活用したベンチ整備	公園・児童遊園の老朽化したベンチの更新にあたり、中央区の森の保全活動で発生した間伐材を用いたベンチを設置する。また、江戸バス停留所においても間伐材の待合ベンチを設置する。 (水とみどりの課 公園河川係)			○	<p>・あかつき公園 かまどベンチ2基</p> <p>・堀留児童公園 ベンチ10基</p>	<p>・堀留児童公園 ベンチ5基</p> <p>・佃公園 ベンチ2基</p> <p>・晴海第一公園 ベンチ2基</p> <p>・新金橋児童遊園 ベンチ1基</p>	<p>予算額【2,888千円】</p> <p>・堀留児童公園 ベンチ4基</p> <p>・坂本町公園 ベンチ6基</p>	計画 外	
24	中央区エコタウン構想の策定  平成24年度より中央区エコタウン構想の推進	地域特性や地域課題を踏まえた地域の環境のあるべき姿を描き、具体的に環境行動を実践していくため、地域と区が協働し、区民が快適に暮らすことのできる「中央区エコタウン構想」(東京駅前地区・晴海地区)を策定する。 (環境政策課 環境計画調整係)  地球温暖化をはじめとする環境問題やエネルギー問題に対して、区民、事業者、区が一体となって地区レベルで取り組み、解決していくことを目指し、さらに、単に環境に配慮するだけではなく、地区全体の魅力や価値を高め、経済活動や様々な活動が活性化してより暮らしやすい街になるような具体的な取り組みの実践を重ねていくために策定した、「エコタウン構想」の各施策を推進する。			○	<p>低炭素なまちづくり推進のための取組み (東京駅前地区) ・環境情報センター、AEMセンター及びエコテックカンの連携による京橋環境ステーションの運営</p> <p>(晴海地区) ・エコタウン構想を踏まえ、清掃工場排熱などの未利用エネルギーや太陽光などの再生可能エネルギーの積極的活用等、東京都に要望した。</p>	<p>低炭素なまちづくり推進のための取組み (東京駅前地区) ・事業者による新たな開発に際し、まちづくり基本条例などを通して、最先端の環境技術の導入を促すなど、環境に配慮した積極的な取組を行った。</p> <p>(晴海地区) ・清掃工場における排熱利用が23区共通の課題であることを踏まえ、中央清掃工場の排熱がオリンピック選手村で利用されるよう、東京都に働きかけを行った。</p>	<p>低炭素なまちづくり推進のための取組み (東京駅前地区) ・京橋環境ステーションを核とし、地元企業が率先して低炭素化への取組みを推進できるような支援策を検討していく。</p> <p>(晴海地区) エコタウン構想を踏まえた、スマートシティの実現に向け、下記の点について、東京都等関係機関との連携を図る。 ・太陽光等再生可能エネルギーの活用 ・中央清掃工場排熱の有効利用 ・水素エネルギー活用の検討 ・コミュニティサイクルの導入 ・BRT(バス高速輸送システム)の導入</p>	計画 外	
25	事業所向け二酸化炭素排出抑制システム認証取得者への商工業融資優遇利率適用	中央区版二酸化炭素排出抑制システム認証取得事業所に対して、商工業融資における優遇利率を適用する。 (区民部商工観光課 相談融資係)		優遇利率適用  (—)	○	1件	1件	制度の周知	計画 外	

	事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点プロジェクト	10年後の到達目標 (平成19年度(策定時)の状況)	事業化状況	推進状況			掲載頁	基本計画
						平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度目標		
26	環境マネジメントシステムの推進 (旧 ISO14001の推進)	区独自の環境マネジメントシステムを活用し、区が率先して事業活動における環境負荷の低減を図り、温室効果ガスの排出抑制に努めている。平成23年10月31日ISO14001有効期限満了に伴い認証返上 (環境推進課 温暖化対策推進係)		推進  (推進)	○	事業推進 実施・運用・点検・報告・見直し  ・区施設の設備運用改善による省エネルギー化に取り組むため、2施設(中央区保健所等複合施設・月島第三小学校等複合施設)をモデル施設として選び、エネルギー使用実態の把握及び課題の抽出を行い効率的で実効性のある運用マニュアルを作成した。	事業推進 実施・運用・点検・報告・見直し  ・区施設の設備運用改善による省エネルギー化に取り組むため、2施設(中央区保健所等複合施設・月島第三小学校等複合施設)をモデル施設として作成した運用マニュアルの検証を行うとともに、全施設に適用する「中央区施設管理マニュアル」を作成した。	予算額【1,249千円】  事業推進 実施・運用・点検・報告・見直し  ・環境マネジメントシステムについては、研修や環境監査等を通じ職場での取り組みを推進するとともに、平成26年度に作成した「中央区施設管理マニュアル」に基づいた設備の省エネルギー対策を実践し、区施設におけるエネルギー使用量をより一層削減できるよう取り組む。	計画外	
27	中央区役所温室効果ガス排出抑制実行計画	区の事務および事業を対象として、温室効果ガス排出量を削減する。 (平成22年度改正) (環境推進課 温暖化対策推進係)		平成16年度比で3%以上の削減 (1.3増) ↓ 平成21年度比で3%削減	○	平成23～27年度削減目標：平成21年度比で3%削減 実績2.6%増加	平成23～27年度削減目標：平成21年度比で3%削減 実績0.7%増加	予算額【3,548千円】  平成23～27年度削減目標：平成21年度比で3%削減 平成28年度以降の計画を策定する。	計画外	
28	街路灯等の省エネ化(メタルハライド、LED)	消費電力の少ない道路照明器具(メタルハライドランプ、LED)を採用することにより、省エネルギー化を推進する。 (水とみどりの課 道路緑化施設係)		推進  (推進)	○	・メタルハライド 整備 113基 累計 2,185基 ・LED(幅員6m以下) 整備 112基 累計 230基	・メタルハライド 整備 0基 累計 2,178基(2基減) ・LED(幅員11m以下) 整備 369基 累計 599基	・メタルハライド 整備 0基 累計 2,178基(5基減) ・LED(幅員11m以下) 整備 433基 累計 1032基  (参考)街路灯の総基数 6,445基	計画外	
29	区営駐車場照明のLED化	区営駐車場内照明の消費電力削減による環境負荷の低減および照明器具の長寿命化による維持管理経費の削減を図るため、照明器具をLED化する。 (環境政策課 交通対策係)		推進  (推進)	○	対象駐車場及び導入器具を検討	対象駐車場及び導入器具を検討	対象駐車場及び導入器具を検討	計画外	
30	資源持ち去り防止対策	区民が安心して資源物を排出できる環境の確保およびリサイクル意識の高揚を図るため、資源物の持ち去り禁止を明確化するとともに、パトロール等の防止対策を実施する。 (中央清掃事務所 作業係)		推進  (一)	○	・警備会社によるパトロールの実施 1台/日 ・職員によるパトロールの実施 ・集積所に持ち去り禁止看板の設置 ・新聞回収袋の配布	・警備会社によるパトロールの実施 1台/日 ・職員によるパトロールの実施 ・びん・缶コンテナへの警告文の表示 ・新聞回収袋の配布 ・GPS端末器による古紙持ち去り追跡調査の実施	予算額【5,784千円】  ・警備会社によるパトロールの実施 1台/日 ・職員によるパトロールの実施 ・びん・缶コンテナへの警告文の表示 ・新聞回収袋の配布 ・GPS端末器による古紙持ち去り追跡調査の実施	計画外	
31	集団回収の支援	地域のリサイクル活動を推進するため、リサイクル活動団体に対する支援を行う。 (中央清掃事務所 清掃事業係)		推進  (登録団体数：180団体)	○	登録団体数：累計222団体	登録団体数：累計229団体	予算額【39,996千円】  登録団体数：累計238団体 (6月18日現在) 235団体	計画外	
32	拠点回収	一人でも多くの区民がリサイクルに参加できるように、公共施設、小学校等、回収協力店で資源物を回収する。 ・公共施設 牛乳パック、食品用発泡スチロールトレイ、乾電池、布類 ・小学校等 廃食用油、布類、牛乳パック、食品用発泡スチロールトレイ、乾電池、ペットボトル ・回収協力店 ペットボトル  (平成26年4月から小型家電12品目及び粗大系小型家電3品目の回収を開始)  (平成27年4月から小型家電の回収品目を拡大し、リサイクルハウスかざぐるま明石町・箱崎町でも回収を開始)  (中央清掃事務所 清掃事業係)		推進  (6品目：廃食用油、布類、牛乳パック、食品用発泡スチロールトレイ、乾電池、ペットボトル)	○	8品目 廃食用油、布類、牛乳パック、食品用発泡スチロールトレイ、乾電池、ペットボトル、蛍光灯、インカートリッジ	9品目 廃食用油、布類、牛乳パック、食品用発泡スチロールトレイ、乾電池、ペットボトル、蛍光灯、インカートリッジ、小型家電  ※4月から毎週土曜日に区内全小学校、銀座中学校および日本橋中学校の18か所を拠点として、小型家電の回収を開始した。  小型家電12品目 (携帯電話、携帯音楽プレーヤー、携帯ゲーム機、デジタルカメラ、ポータブルビデオカメラ、ポータブルナビ、電子辞書、卓上計算機、ACアダプター、タブレット端末、ICレコーダー、USBメモリー・メモリーカード)  ※27年3月 ペットボトルの店頭回収終了  26年度小型家電回収量 11,073.4kg	予算額【21,544千円】  9品目 廃食用油、布類、牛乳パック、食品用発泡スチロールトレイ、乾電池、ペットボトル、蛍光灯、インカートリッジ、小型家電  ※4月から小型家電の回収品目を10cm×25cm以内のものに拡大し、リサイクルハウスかざぐるま明石町・箱崎町でも回収を行っている。  小型家電品目(10cm×25cm以内) (例：携帯電話、携帯音楽プレーヤー、携帯ゲーム機、デジタルカメラ、ポータブルビデオカメラ、ポータブルナビ、電子辞書、卓上計算機、ACアダプター、タブレット端末、ICレコーダー、USBメモリー・メモリーカード、電話機、ラジオ、ドライヤー、電気かみそり、リモコンなど)  27年度小型家電回収量(見込) 11,960kg (6月末現在回収量) 2,686.3kg	計画外	

	事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点プロジェクト	10年後の到達目標 (平成19年度(策定時)の状況)	事業化状況	推進状況			掲載頁	基本計画	
						平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度目標			
33	集積所回収	資源物を集積所で回収し資源化することにより、ごみの減量およびリサイクルを進め、最終処分場の延命と資源の有効活用を図る。 (中央清掃事務所 清掃事業係)		推進 (6品目) びん、缶、新聞、雑誌・雑紙、段ボール、ペットボトル	○	9品目 びん、缶、新聞、雑誌・雑紙、段ボール、ペットボトル、金属製なべ・やかん・フライパン、プラスチック製容器包装、スプレー缶・カセットコンロ用ガスボンベ	9品目 びん、缶、新聞、雑誌・雑紙、段ボール、ペットボトル、金属製なべ・やかん・フライパン、プラスチック製容器包装、スプレー缶・カセットコンロ用ガスボンベ	9品目 びん、缶、新聞、雑誌・雑紙、段ボール、ペットボトル、金属製なべ・やかん・フライパン、プラスチック製容器包装、スプレー缶・カセットコンロ用ガスボンベ	予算額【451,536千円】	計画外	
34	土のリサイクル	廃棄物として取り扱えない「園芸用の土」を毎週土曜日に学校を拠点とした回収を行い、リサイクルを推進する。 (環境推進課 環境活動係)			○	回収量 10,220kg 再生量 9,850kg	回収量 15,580kg 再生量 12,595kg	回収量 15,000kg 再生量 12,750kg  (6月1日現在実績) 回収量 2959kg 再生量 0kg	予算額【3,890千円】	計画外	
35	総合環境講座の開催	環境問題に対する理解を深めるとともに、地域において環境活動に取り組む人材を育成するため、環境学習講座の充実を図る。 (環境推進課 環境活動係)		推進 (推進)	○	開催 2回 48人参加 内容 総合環境講座 家庭向け(春)・事業所向け(秋) 環境情報センターで各8回実施	※予算は、環境情報センターの管理運営業務委託の一部に組み込まれている。 開催 2回 46人参加 内容 総合環境講座 ①家庭向け(春) 全8回 29人参加 ②事業所向け(秋) 各4回 ・環境・CSRコース 13人参加 ・省エネ対策コース 4人参加	※予算は、環境情報センターの管理運営業務委託の一部に組み込まれている。 ○家庭向け 全6回コース+フォローアップ講座2回 28人参加(6月30日現在実績) ○事業所向け 環境情報センターの事業者向け講座として、実施する予定。 ・温暖化対策コース5回 ・CSR・CSVリレセミナー3回(5月、9月、2月)		計画外	
36	コミュニティバス等の運行	地域内・地域間を結ぶ公共交通を補完し、区内交通不便エリアの解消と公共施設の利便性向上を図るため、コミュニティバスを運行する。 (環境政策課 庶務係)			○	運行 乗車人数 484,299人 1日平均 1,330人	予算額【91,783千円】 運行 乗車人数 513,009人 1日平均 1,409人	予算額【96,442千円】 運行 乗車人数 543,277人 1日平均 1,493人		計画外	○
小計	36事業				33事業						

2 都市環境 - 環境負荷の少ないまちをつくります -

事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点プロジェクト	10年後の到達目標 (平成19年度(策定時)の状況)	事業化状況	推進状況			掲載頁	基本計画
					平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度目標		
1	空地および区の施設の緑化推進 (水とみどりの課 緑化推進係)	区内の空地、公共施設の屋上や壁面の緑化、芝生化などを積極的に進める。 (水とみどりの課 緑化推進係)	31施設 (20施設) 内訳) 屋上 19施設 壁面 1施設	○	屋上 - 屋上累計 25施設 壁面 - 壁面累計 11施設 計 36施設 116.1%	屋上 2施設 (十思スクエア別館、明正小学校) 屋上累計 27施設 壁面 3施設 (十思スクエア別館、明正小学校、マイホームはるみ) 壁面累計 14施設 計 41施設 132.3%	屋上 - 屋上累計 27施設 壁面 1施設 (久松小学校) 壁面累計 15施設 計 42施設 135.5%	32頁	○
2	緑化助成制度 (水とみどりの課 緑化推進係)	区民・事業者の屋上緑化・壁面緑化等に対する助成を推進する。 (水とみどりの課 緑化推進係)	推進 (推進)	○	・地上部等緑化 9件 157㎡ ・屋上等緑化 8件 354㎡ ・保護育成費助成 4件	・地上部緑化 18件 371㎡ ・屋上等緑化 5件 74㎡ ・保護育成費助成 4件	予算額【12,000千円】 ・地上部緑化 15件 ・屋上等緑化 10件 ・保護育成費助成 5件  (6月19日現在) ・地上部等緑化 0件 ・屋上等緑化 2件 163㎡ ・保護育成費助成 2件	32頁	○
3	苗木即売会 (水とみどりの課 緑化推進係)	緑化意識の高揚を図るために苗木即売会を開催し、緑の相談コーナーを設置するとともに、ベランダ緑化のモデルケース展示を行う。 (水とみどりの課 緑化推進係)	推進 (推進)	○	春2回(5月) ・5月24日実施 あかつき公園 ・5月25日実施 月島第一児童公園  秋2回(10月) ・10月18日実施 浜町公園 ・10月19日実施 月島第一児童公園 計4回	春2回(5月) ・5月16日実施 あかつき公園 ・5月17日実施 月島第一児童公園  秋2回(10月) ・10月17日実施 浜町公園 ・10月18日実施 月島第一児童公園 計4回	予算額【137千円】 春2回(5月) ・5月22日実施 あかつき公園 ・5月23日実施 月島第一児童公園  秋2回(10月) ・10月17日実施 浜町公園 ・10月18日実施 月島第一児童公園 計4回	計画外	
4	遮熱性舗装道路の整備 (道路課 まちなみ整備係)	舗装路面の温度の上昇を抑制し、蓄熱量を低減するために遮熱性舗装を推進する。 対象：総幅員22m以上で低騒音舗装になっている道路 (道路課 まちなみ整備係)	127,390㎡ (7,590㎡)	○	整備面積 6,195㎡ 整備面積累計 48,302㎡ 整備率 37.9%	整備面積 1,630㎡ 整備面積累計 49,932㎡ 整備率 39.2%	予算額【12,442千円】 整備面積 1,320㎡ 整備面積累計 51,252㎡ 整備率 40.2%	33頁	○
5	路面温度表示板設置 (道路課 まちなみ整備係)	遮熱性舗装の効果を区民や来街者に知ってもらうため、太陽光パネルを用いた路面温度表示板を設置する。 (道路課 まちなみ整備係)		○	累計 1基	累計 1基	予算額【3,673千円】 累計 1基 2基	計画外	
6	建物の排熱抑制、断熱処理等の促進 (環境推進課 温暖化対策推進係)	建物の新築時に環境計画書の提出を求め、排熱の少ない構造や機器の導入、屋上や壁面の断熱処理等を促進する。 (環境推進課 温暖化対策推進係)	推進 (推進)	○	市街地開発事業指導要綱に基づき100㎡以上の開発を行うものに対して環境計画書の提出の義務を明記して指導した。	市街地開発事業指導要綱に基づき100㎡以上の開発を行うものに対して環境計画書の提出の義務を明記して指導した。	市街地開発事業指導要綱に基づき100㎡以上の開発を行うものに対して環境計画書の提出の義務を明記して指導する。	33頁	
7	7-1 風の道づくり (八重洲通り) (晴海通り) (日本橋川)	7-1 道路の緑化 街路樹の充実や中央分離帯の緑化を東京都と連携して推進する。 (水とみどりの課 道路緑化施設係)	推進 (推進)	○	累計 中木 60本	累計 中木 60本	累計 中木 60本	32頁	
	7-2 護岸の緑化 日本橋川の護岸の緑化を進める。 (水とみどりの課 道路緑化施設係)	推進 (推進)	○	※東京都による整備事業 整備延長 - 累計 604m	※東京都による整備事業 整備延長 38m 累計 642m	※東京都による整備事業 整備延長 100m 累計 742m			
	7-3 建築物の配置等の配慮 再開発等において、風の流れを遮断することのないように配慮する。 (都市整備部地域整備課 まちづくり推進主査)	推進 (推進)	○	再開発事業及びその他の開発を含めた開発間での調整を行うとともに、各地区に定められている地区計画により、建物の壁面を後退させ、空間確保を図った。	再開発等において、建物の配置計画の検討にあたり、空間の確保を図るよう配慮するとともに、個別建替えにおいては地区計画で定められた建物の壁面後退により空間を確保した。	再開発等において、建物の配置計画の検討にあたり、空間の確保を図るよう配慮するとともに、個別建替えにおいては地区計画で定められた建物の壁面後退により空間を確保する。			
	7-4 高速道路の撤去 日本橋川上空に架かっている高速道路の撤去の可能性を検討する。 (都市整備部地域整備課 まちづくり推進主査)	推進 (推進)	○	日本橋再生推進協議会を通じて地元と一体となった取り組みを継続し、日本橋川河岸街区のオープンスペース化等、モデル地区におけるシミュレーションや事業検討を通じ、実現可能な事業方策の検討を行った。	日本橋再生推進協議会を通じて地元と一体となった取り組みを継続し、日本橋川河岸街区のオープンスペース化等、モデル地区におけるシミュレーションや事業検討を通じ、実現可能な事業方策の検討を行った。	日本橋再生推進協議会を通じて地元と一体となった取り組みを継続するとともに、日本橋川河岸街区のオープンスペース化に向け川沿いにおける大規模開発等の機会に通じた一体的なまちづくりを推進するため、機能連携やネットワーク構築等の考え方を示すまちづくりビジョンの策定に向けた検討を行う。			



	事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点 プロ ジェク ト	10年後の到達目標 (平成19年度(策定時)の状況)	事業化 状況	推進状況			掲載 頁	基本 計画
						平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度目標		
8	車道透水性舗装の導入	区道等の整備、補修にあわせて車道透水性舗装を導入する。 対象：京橋・日本橋地区の幅員5.45m未満の道路 総面積 約51,700㎡ (道路課 まちなみ整備係)		11,630㎡  (1,630㎡)	○	整備面積 263㎡ 整備面積累計 4,486㎡ 整備率 38.6%	整備面積 509㎡ 整備面積累計 4,995㎡ 整備率 42.9%	予算額【58,856千円】 整備面積 1,500㎡ 整備面積累計 6,495㎡ 整備率 55.8%	22頁	○
9	街角広場の整備	地域のランドマークとして、明るさや美しさに配慮した街角 広場を増やす。 (水とみどりの課 道路緑化施設係)		27か所  (7か所)	○	整備 1か所 (旧紺屋橋) 整備予定箇所 15か所 55.6%	整備 2か所 (新京橋、鞍掛橋緑地帯) 整備予定箇所 17か所 63.0%	予算額【6,169千円】 整備 1か所 (女橋緑地帯) 整備予定箇所 18か所 66.7%	23頁	○
10	緑道の整備	区民が散策路として楽しめるよう、河川や運河沿いの通路等 を快適でうるおいのある緑道にする。 (水とみどりの課 道路緑化施設係)		整備延長 1,650m	○	整備延長 - 累計 835m 整備率 50.6%  整備面積 - 累計 6,589㎡	整備延長 - 累計 835m 整備率 50.6%  整備面積 - 累計 6,589㎡	予算額【116,421千円】 (亀島川緑道) 整備 128m 累計 963m 整備率 58.4% 整備面積 1,022㎡ 累計 7,611㎡	23頁	○
11	古木を生かした景観の整備	区内の古木や由緒ある木を中心に「花と緑の名所づくり」を 進め、文化・歴史と調和した景観を整備する。 (水とみどりの課 緑化推進係)		(推進)	○	推進	推進	推進	23頁	
小計	11事業				11事業					

3 生活環境 —健康で快適に暮らせるまちをつくります—

事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点プロジェクト	10年後の到達目標 (平成19年度(策定時)の状況)	事業化状況	推進状況			掲載頁	基本計画
					平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度目標		
1	駐輪場の整備 環境負荷の少ない自転車利用を促進するために、駅周辺の整備時や百貨店等の大型集客施設の建て替え等において、駐輪場を設置する。 (環境政策課 交通対策係)		23か所 (15か所)	○	駐輪場整備箇所の調査検討  整備箇所累計 19か所 82.6% (人形町駐輪場の10年償還3回目分を計上)	東京駅周辺9か所に民設民営による有料駐輪場を整備した。 ※収容台数 361台 (電源設備及び歩道拡幅工事費等を計上)  整備箇所累計 20か所 87.0% (人形町駐輪場の10年償還4回目分を計上)	予算額【11,016千円】 東京駅周辺の未整備の駐輪場2か所の早期整備に努めるとともに、銀座地区等においても民設民営駐輪場の整備を進める。 (電源設備工事費を計上)  整備箇所累計 21か所 91.3% (人形町駐輪場の10年償還5回目分を計上)	24頁	○
2	低騒音舗装道路の整備 自動車交通の騒音を抑制するため、道路の低騒音舗装を進める。 対象：幅員15m以上の道路 (道路課 まちなみ整備係)		117,640㎡ (11,140㎡)	○	整備面積 累計 2,711㎡ 53,081㎡ 整備率 45.1%	整備面積 累計 1,626㎡ 54,707㎡ 整備率 46.5%	予算費【50,268千円】  整備面積 累計 3,710㎡ 58,417㎡ 整備率 49.7%	24頁	○
3	大気汚染・有害物質対策の推進 区民の健康を守るために、大気や土壌等の有害物質に対する調査・対策を強化していく。 (環境政策課 環境計画調整係)		推進 (推進)	○	大気中アスベスト調査 3か所 大気中ダイオキシン類調査 1か所 土壌中ダイオキシン類調査 5か所	大気中アスベスト調査 3か所 大気中ダイオキシン類調査 1か所 土壌中ダイオキシン類調査 4か所 大気中揮発性有機化合物調査 1か所	予算額【1,335千円】 大気中アスベスト調査 3か所 大気中ダイオキシン類調査 1か所 土壌中ダイオキシン類調査 4か所	24頁	
4	新交通システム導入 CO2の排出が少ない公共交通機関導入について、東京都と連携して検討を進める。 (環境政策課 土木計画調整係)		検討	○	・周辺交通への影響検討 ・定時性・速達性確保の検討 ・荷捌きへの影響検討 ・運行事業者の選定に係る募集要件等の検討 ・道路管理者・交通管理者・地元等関係者との協議 ・隣接区(港区・江東区)との協議	・BRTの運行について、東京都が事業化することとなり、平成27年4月、都は区と連携して基本計画を策定した。  ※地下鉄計画検討調査 増加する交通需要への対応や交通弱者等の移動支援など、都市交通の課題解決に向けて、地下鉄新規路線の導入に関する検討調査を行い、関係機関に働きかける。	・BRTの運行について、東京都と連携して検討を進める。今年度は、運行事業者を公募・選定し、事業計画を策定する。 (平成27年4月 基本計画策定)  予算額【24,300千円】 ※地下鉄計画検討調査 増加する交通需要への対応や交通弱者等の移動支援など、都市交通の課題解決に向けて、地下鉄新規路線の導入に関する検討調査を昨年度に引続き実施し、計画の深度化を図る。併せて、交通政策審議会答申に位置付けられるよう、関係機関に働きかける。	25頁	○
5	自転車利用の促進 快適な自転車の利用に向けて、専用レーンの整備などを検討する。 (環境政策課 環境計画調整係)			○	・コミュニティサイクル導入検討	・コミュニティサイクル導入検討	・コミュニティサイクル導入 (平成27年10月開始予定) サイクルポート 20か所 自転車 200台	25頁	
6	エコドライブの促進 アイドリング・ストップや急発進・急加速の防止等、省エネルギーでCO2の排出の少ない運転を促進する。 (環境推進課 温暖化対策推進係)		推進 (推進)	○	・区内事業者に周知用パンフレット送付 838件 ・懸垂幕の掲出(11月～2月) 3か所	・区内事業者に周知用パンフレット送付 865件 ・懸垂幕の掲出(11月～2月) 3か所	・区内事業者に周知用パンフレット送付 900件 ・懸垂幕の掲出(11月～2月) 3か所	24頁	
7	低公害車の普及促進 電気自動車を導入するとともに、急速充電器の整備を進め、低公害車の普及を促進する。 (環境推進課 温暖化対策推進係)		継続 (継続)	○	・電気自動車・プラグインハイブリッド自動車 *購入費助成 (25万円：システム認証30万円) 0件 *購入者に対する軽自動車税の免除 14件  *電気エコ(急速充電)スタンド利用実績(区内3カ所計) 8,108回 ・区役所附属駐車場 ・浜町公園地下駐車場 ・月島駐車場	・低公害車の普及促進  *電気エコ(急速充電)スタンド利用実績(区内3カ所計) 7,719回 ・区役所附属駐車場 ・浜町公園地下駐車場 ・月島駐車場	・低公害車の普及促進  予算額【1,998千円】 *電気エコ(急速充電)スタンド利用実績(区内3カ所計)(5月末現在実績) 1,236回 ・区役所附属駐車場 ・浜町公園地下駐車場 ・月島駐車場	24頁	
	天然ガス自動車(CNG車等)、ハイブリッド車、電気自動車等の低公害車利用者の区営駐車場使用料を優遇する。 (環境政策課 交通対策係)				電気自動車 区営駐車場割引 1万円 12件  低公害車(電気自動車を除く) 区営駐車場割引 6千円 2,025件	電気自動車 区営駐車場割引 1万円 12件  低公害車(電気自動車を除く) 区営駐車場割引 6千円 2,031件	電気自動車 区営駐車場割引 1万円 12件  低公害車(電気自動車を除く) 区営駐車場割引 6千円 2,031件		

	事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点 プロ ジェク ト	10年後の到達目標 (平成19年度(策定時)の状況)	事業化 状況	推進状況			掲 載 頁	基 本 計 画
						平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度目標		
8	地域美化活動への区民・事業者の参加促進	クリーンデーやまちかどクリーンデーなどの地域美化活動への区民・事業者の参加を促進する。 (環境推進課 環境活動係)		・クリーンデー 参加団体数 309団体 (259団体) ・まちかどクリーンデー 参加登録数 220件 (120件)	○	・クリーンデー(5月26日実施) 参加団体数 260団体 参加率 84.1% ・まちかどクリーンデー 参加登録数 213件 登録率 96.8%	・クリーンデー(5月25日実施) 参加団体数 252団体 参加率 81.6% ・まちかどクリーンデー 参加登録数 222件 登録率100.9%	予算額【5,044千円】 ・クリーンデー(5月24日実施) 参加団体数(別日に実施する団体も含む) 269団体 参加率 87.1% ・まちかどクリーンデー 参加登録数 230件 登録率104.5%	25頁	○
9	街頭パトロール・街頭キャンペーンの実施	歩きタバコ・ポイ捨て・アイドリングや資源持ち去りなどの迷惑行為を防止するため、街頭パトロール等を実施する。 (環境推進課 環境活動係)		パトロール等 歩きタバコ・ポイ捨て防止	○	パトロール 14人 延べ日数 1,943日	パトロール 14人 延べ日数 1,938日	予算額【42,401千円】 パトロール 14人 延べ日数 1,935日	25頁	○
小計	9事業				9事業					

4 自然環境 ー水辺や緑に囲まれたまちをつくりますー

事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点プロジェクト	10年後の到達目標 (平成19年度(策定時)の状況)	事業化状況	推進状況			掲載頁	基本計画
					平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度目標		
1	公園・児童遊園の整備 再開発や公共施設の再編により、自然環境に配慮した、公園・児童遊園を整備する。 (水とみどりの課 公園河川係)		公園 53園 (51園) 児童公園 38園 (37園)	○	公園 53園 (湊公園廃止) 整備率 100%  児童遊園 33園 整備率 86.8%	公園 54園 (本石町公園新設) 整備率 101.9%  児童遊園 33園 整備率 86.8%	公園 54園 整備率 101.9%  児童遊園 33園 整備率 86.8%	26頁	○
2	街路樹の整備 花や紅葉が美しい木、実がなる木など区民に親しまれる街路樹を増やす。 歩道の新設や拡幅の際には、街路樹間に中木・低木を植栽するなど積極的に植樹し、街路樹の多層化・連続化等により緑豊かな歩行空間の整備を行う。 (水とみどりの課 道路緑化施設係)		7,195本  (6,417本)	○	整備 70本 整備累計 6,769本 94.1%	整備 38本 整備累計 6,807本 94.6%	整備 36本 整備累計 6,843本 95.1%	26頁	○
3	河川の水質浄化 水のきれいな川にするため、東京都や流域の自治体、区民・事業者との連携を図り、地下水の河川への放流など、具体的な水質浄化対策について研究する。 (環境政策課 環境計画調整係)			○	浄化方法の研究	浄化方法の研究	浄化方法の研究	27頁	
4	朝潮運河護岸環境整備の推進 東京都の護岸整備にあわせて、親水性や水生生物等に配慮した憩いの場として整備する。 (水とみどりの課 公園河川係)		整備延長 2,810m  (一)	○	晴海三丁目黎明橋公園北側 新規整備 104m 累計 398m 整備率 14.2%  ※東京都による耐震護岸工事 ・月島二丁目地盤改良 (延長約170m)	朝潮運河護岸上部(月島二丁目)(基本設計) 新規整備 0m 累計 398m 整備率 14.2%  ※東京都による耐震護岸工事 ・月島四丁目地盤改良 (延長約95m 平成26~27年度)	朝潮運河護岸上部(月島二丁目)(詳細設計) 新規整備 0m 累計 398m 整備率 14.2%  ※東京都による耐震護岸工事 ・月島四丁目地盤改良 (延長約95m 平成26~27年度)	27頁	○
5	水の都プロジェクトの推進 水辺の持つ魅力を引き出したにぎわいの場を創出するため、「中央区水辺利用の活性化に関する方策(平成18年4月策定)」に基づき、地域性や歴史性を踏まえながら、快適でうらおいのある水辺環境の整備、さらにはにぎわいの場としての活用により居住者にも来訪者にも魅力的な水辺空間とするため「水の都プロジェクト」を推進する。 (水とみどりの課 道路緑化施設係・公園河川係)			○	・月島三丁目児童遊園 隅田川バリアフリースロープ設置等 改修面積1,563㎡  ・石川島公園 108㎡拡張	・亀島川護岸上部(湊側)(詳細設計) ・朝潮運河護岸上部(月島側)(基本設計)	予算額【137,476千円】 ・月島川緑の散歩道整備設計委託(基本・詳細設計) ・朝潮運河護岸上部(月島側)(詳細設計) ・亀島川緑道整備 スロープ設置等 整備延長128m		計 画 外
6	花と緑の見所づくり 「花の都中央区宣言」がめざす花と緑に包まれたまちを実現するため、改定した「中央区緑の基本計画」に基づき公園や道路、緑道などに花や緑の見所をつくる。 (水とみどりの課 公園河川係)		推進  (推進)	○	—	「水とみどりのふれあいマップ」により、区内の街路樹、公園、河川などの散策コースを紹介し、自然への理解を深めてもらう。	「水とみどりのふれあいマップ」により、区内の街路樹、公園、河川などの散策コースを紹介し、自然への理解を深めてもらう。		計 画 外
7	中央会館「銀座ブロッサム」屋上緑化を活用した指定管理者と「銀座ミツバチプロジェクト」との協働 (区民部地域振興課 協働推進主査)		推進  (一)	○	屋上緑化設備の活用 ・草花、農作物の苗植、育成 ・障害のある方々の活動の場として提供(障害者就労促進センター さわやかワーク中央) ・区民、在勤者を対象に屋上農園について学習する機会を提供(銀座ミツバチプロジェクト)	屋上緑化設備の活用 ・草花、農作物の苗植、育成 ・障害のある方々の活動の場として提供(障害者就労促進センター さわやかワーク中央) ・区民、在勤者を対象に屋上農園について学習する機会を提供(銀座ミツバチプロジェクト)	屋上緑化設備の活用 ・草花、農作物の苗植、育成 ・障害のある方々の活動の場として提供(障害者就労促進センター さわやかワーク中央) ・区民、在勤者を対象に屋上農園について学習する機会を提供(銀座ミツバチプロジェクト)		計 画 外
小計	7事業			7事業					

5 地域の環 ー区民・事業者・区が協働して、楽しみながら環境活動を実践しているまちをつくりまー

事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点プロジェクト	10年後の到達目標 (平成19年度(策定時)の状況)	事業化状況	推進状況			掲載頁	基本計画
					平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度目標		
1	環境活動への応援	区民や事業者が提案する優れた環境プロジェクトなどを応援し、取り組み意欲を高める仕組みをつくる。 (水とみどりの課 緑化推進係)	推進 (一)	○	推進	推進	推進	28頁	
2	区民・事業者・区の連携による環境活動	・環境区民会議の設立 区民、事業者、NPO等に参加を呼びかけ、自主的・自発的な環境活動を促進する。 (環境政策課 環境計画調整係)	設立 平成20年度 (一)	○	登録数 62件 ・環境情報センターを活用した会議の運営方法を検討した。	登録数 62件 ・環境情報センターを活用した会議の運営方法を検討した。	登録数 62件 ・環境情報センターを活用した会議の運営方法を検討する。	34頁	
3	エコポイント制度導入の検討	買い物やレジ袋を断ることにより得たポイントを、「中央区の森寄附金」等の環境活動に使える「エコポイント」制度を検討する。 (区民部商工観光課 商工観光係)  ※エコポイント 省エネルギー性能の高いエアコン・冷蔵庫・地上デジタル放送対応テレビの購入や、エコ住宅の新築・エコリフォームをした者に対して一定のエコポイントを付与し、これを使ってエコ商品等を購入できるようにするという制度。			環境省が推進する全国版「エコ・アクション・ポイント」制度を活用し、区が実施する環境事業にポイント付与を行った。  ※「6 エコ・アクション・ポイントの導入」参照	環境省が推進する全国版「エコ・アクション・ポイント」制度を活用し、区が実施する環境事業にポイント付与を行った。  ※「6 エコ・アクション・ポイントの導入」参照	制度導入の検討  ※「6 エコ・アクション・ポイントの導入」参照	29頁	
4	環境情報施設の整備	環境に関する様々な情報の提供や環境活動の場と機会の提供に対応するため環境情報施設を整備する。 (環境推進課 環境活動係)	1か所 (一)	○	6月2日開設 ※管理運営業務受託者 株式会社小学館集英社プロダクション  環境活動団体の活動内容を紹介、展示するとともに、団体の交流を促進する。  ・来館者数 15,042人  ・環境活動登録団体 20団体	※管理運営業務受託者 株式会社小学館集英社プロダクション  環境活動団体の活動内容を紹介、展示するとともに、団体の交流を促進する。  ・来館者数 23,378人 目標 23,000人  ・環境活動登録団体 31団体 (3月末現在累計) ・中央エコキッズ 80人 (3月末現在累計)	予算額【48,394千円】  ※管理運営業務受託者 株式会社小学館集英社プロダクション  環境活動団体の活動内容を紹介、展示するとともに、団体の交流を促進する。  ・来館者数 5,401人(5月末現在実績) 目標 25,000人  ・環境活動登録団体 34団体 (6月末現在累計実績) ・中央エコキッズ 80人 (5月末現在累計実績)	29頁	
5	環境経営認証取得費助成	区内の中小企業が環境に配慮した経営に関する認証(エコアクション21、エコステージ、グリーンプリンティング、グリーン経営認証など)を新たに取得した場合に、その経費の一部を助成する。 (環境推進課 温暖化対策推進係)		○	・助成決定件数 1件 78,000円	・助成交付件数 3件 243,000円	予算額【360千円】  ・助成予定件数 3件 360,000円  (6月10日現在実績) ・助成申請件数 0件 0円	計画外	
6	エコ・アクション・ポイント導入	環境省が推進している全国型のエコ・アクション・ポイントに参画。本区の実施する環境事業への参加者にポイントを付与する。 (環境推進課 温暖化対策推進係)  ※エコ・アクション・ポイント 環境省が推進しているエコ・ポイント事業 区が実施する環境活動に参加したり、企業が指定する商品を購入するとポイントを獲得でき、商品等に交換できる制度。			エコ・アクション・ポイントの運用 ・付与実績 452件 75,600ポイント (採番数 518件 82,200ポイント)	エコ・アクション・ポイントの運用 ・付与実績 379件 56,600ポイント (採番数 467件 65,400ポイント)	運用廃止  (理由) エコ・アクション・ポイント事業を行っていた業者が撤退し、引継ぐ業者が関西中心に事業を展開するなど、従前どおりの事業継続が困難となったため見直しを図った。	計画外	
7	緑化ボランティア	区民および事業者との協働による緑化活動を推進する。 (水とみどりの課 緑化推進係)  ※緑のアダプト活動 区の管理する公園・児童遊園・緑地帯等で草花の植え替え、手入れ、除草等の補助活動を行う。		○	ボランティア参加 684人	ボランティア参加 748人  ※緑化表彰制度発足・開始 表彰6人(個人3人、団体3人)	ボランティア参加 840人 (6月29日現在) 833人  緑化表彰 6人	計画外	
小計	7事業			5事業					